

# 総務文教常任委員会報告

## 閉会中の委員会調査

平成16年7月13日

○地域交通計画について  
利用者の拡大として1月より町外者も対象にした循環乗合タクシーの実態について調査を行った。

・利用者の状況は、約2倍に伸びている。  
・町の補助金は、平成15年度415万円が、平成16年度は月額15万円、年額180万円の補助金である。  
・利用者の80%が病院利用者である。

### 委員より

・再度福祉バスとの関連を検討する必要はないか。  
・他の補助金と比べて、循環タクシーへの補助金額の妥当性を検討すべき。

## ○美術館建設計画について

・平成10年に条例制定し、基金は現在1億円で、平成18年度に2億円で建設を予定。  
・川上家では売却の考えはない。寄託についても現段階では回答出来ない。  
・検討準備会は、設立していない。

・美術館と童画美術館の2つ建設の考えはない。  
・雪国館(資料館)を美術館にする考えは、川上家の意向には合わない。  
・童画展の作品を各施設に貸出す計画である。

### 委員より

・湯沢町としての方針を決定して、川上家との交渉をするべき。  
・ミニ地方債での建設を検討。  
・行財政改革の中で削っていく事だけでなく、

どうしたら建設が出来るのか、いつなら出来るのか、担当課として検討して頂きたい。

## ○湯沢高校存続問題について

・執行部からは、県との確認で、高校存続はあり得ないことから、統合後の検討を提案されたが、幹事会としては、存続運動を継続する方向となった。

平成16年9月3日

## ○小学校の将来像について

・教育面から湯沢町全体としての方針を検討しなければならぬが、学校教育課としてまとまった意見はない。

### 委員より

・正式なテーブルで議論をする時期である。  
・財政問題で学校の統合を考えるべきでない。  
・教育面から、湯沢町の小学校が将来どうあるべきか検討するべきである。



追加導入が決まった湯沢病院の医用画像診断装置